



I 時代の流れと将来予測



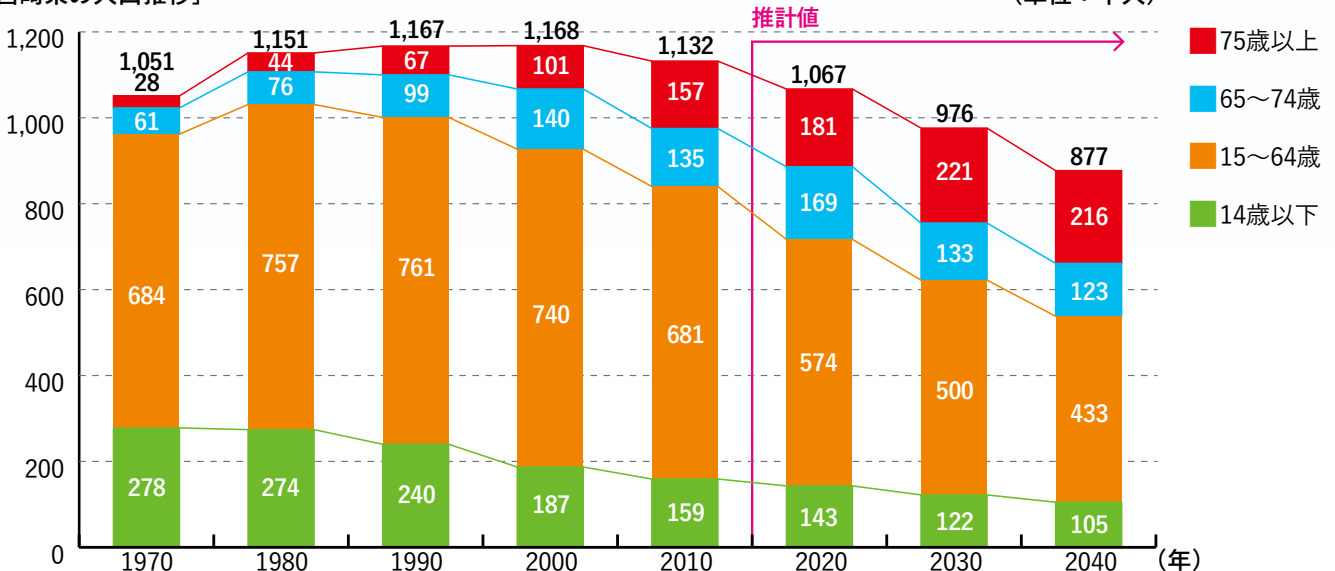
時代の流れ

1. 本格的な少子高齢・人口減少時代の到来

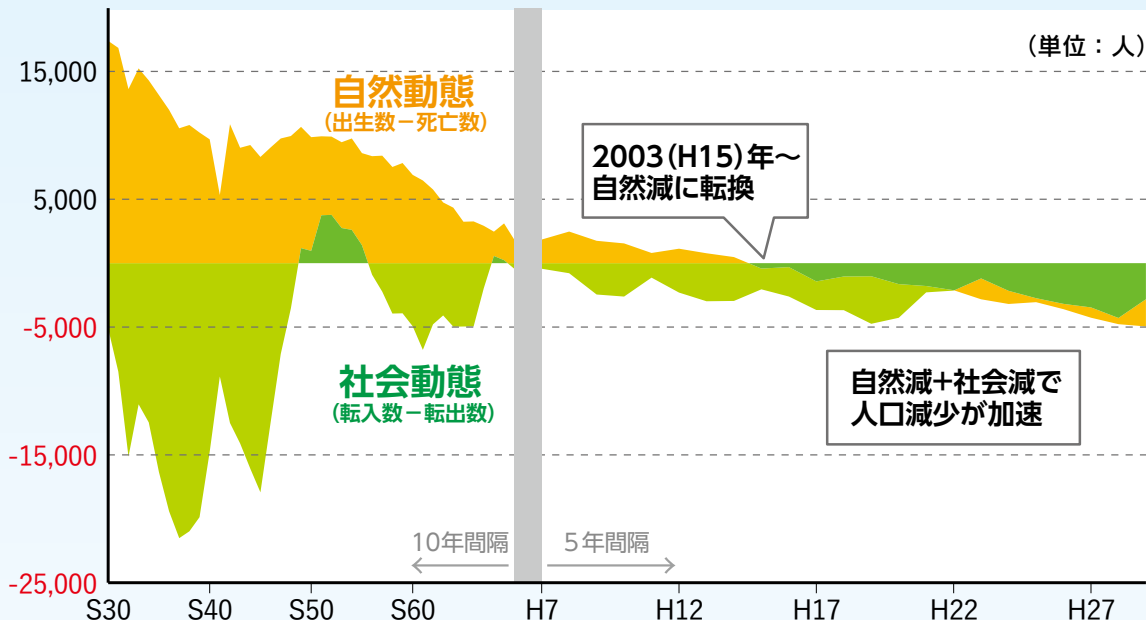
世界の人口は、今後も増加が見込まれていますが、日本は、本格的な少子高齢・人口減少時代を迎えています。人口構造の変化等により経済や暮らしに様々な影響が生じることが予想されます。

〔宮崎県の人口推移〕

(単位：千人)



(出典：2010年までは総務省国勢調査（年齢不詳除く）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計））



人口変動の要因には、自然増減（出生者数と死亡者数の差）と、社会増減（県外から転入する人数と県外に転出する人数の差）があるんだよ！

宮崎県では進学・就職などにより、15歳から24歳の年代で大幅な社会減になっているんだ。加えて、2000年代以降は自然減も拡大していて、今後、ますます人口減少が加速化していく見込みなんだ…

※社会減…県外への流出

人口減少などが進むと、こんなことが予想されるよ!!

- 人口減少 消費（需要）の減少、地域の維持困難 など
- 労働力人口の減少 労働力不足、生産力の低下、国際競争力の低下 など
- 少子高齢化 社会保障費の増加、地域活力の低下、ライフプランや消費者嗜好の多様化 など

2. グローバル化と地域社会

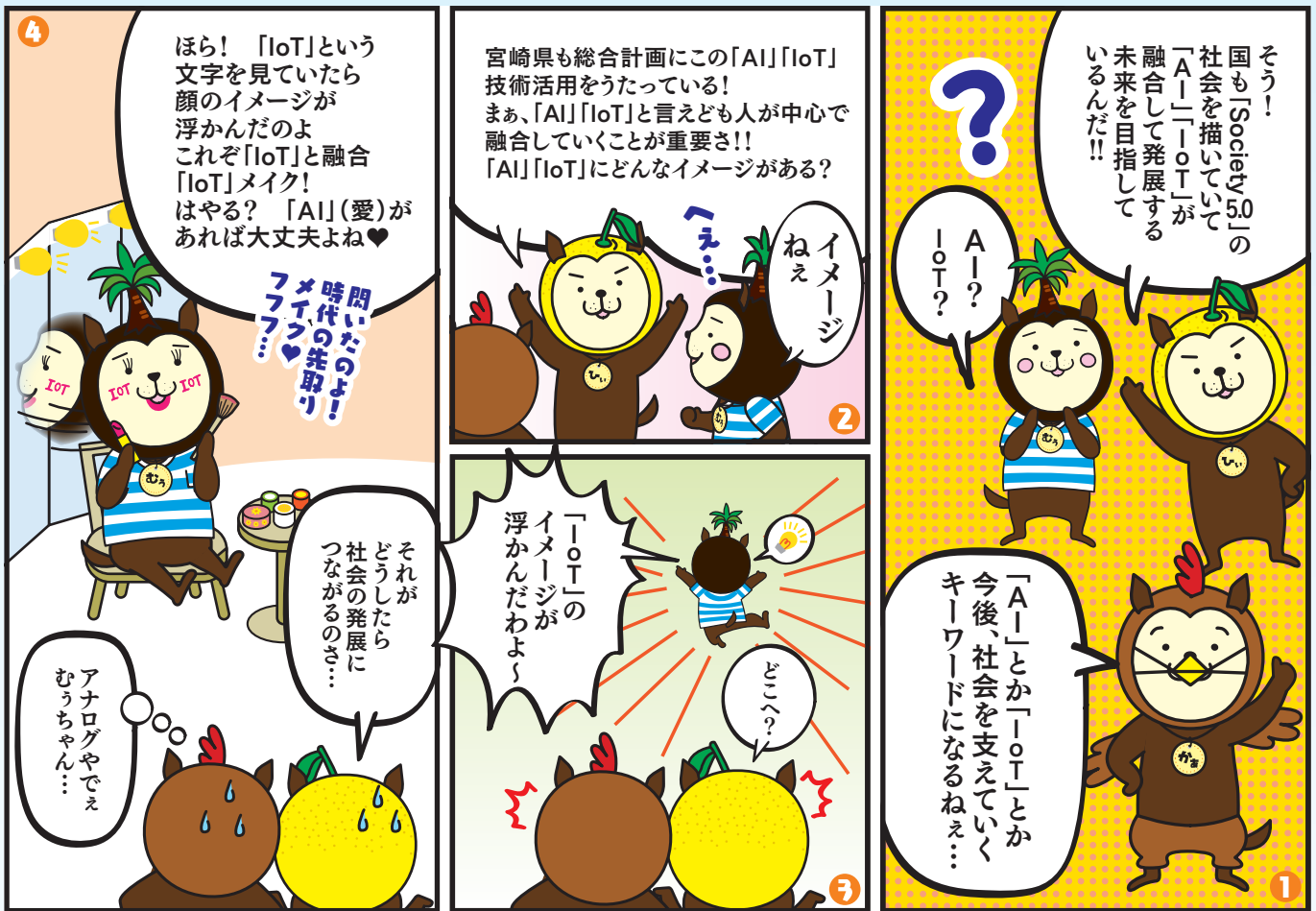
グローバル化により、世界の動きが直接、地域社会に影響を与えるようになってきました。国際的な地域間競争が激化する一方、経済や人の交流を拡大するチャンスでもあり、活力を取り込み、地域の強みや特性を生かして国際社会の中でも個性ある地域・産業づくりを行うことが求められています。

3. 資源・環境問題への対応

世界の人口増加や経済活動の広がりにより、資源の確保が課題となる中、限られた資源の有効活用や再生可能エネルギーの利用拡大など、環境に配慮した低炭素・循環型社会に転換していく必要があります。



4. 社会を支える科学技術の発展



Society5.0とは？

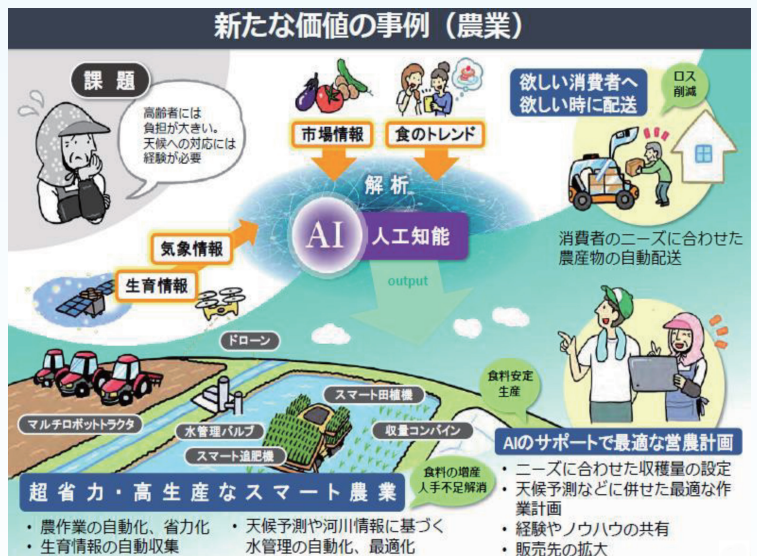
①狩猟社会、②農耕社会、③工業社会、④情報社会に続く、人類史上5番目の新しい社会のこと。

IoTや人工知能(AI)等の技術革新(イノベーション)が急激に進んでおり、我が国では、このような先端技術を産業や暮らしの中に取り込んで、様々な課題を解決する「Society5.0」の実現を目指しています。

少子高齢化と人口減少が進行する中でも、社会経済や暮らしを、持続可能でより豊かなものにしていくことが期待されています。

どんなことが可能になるの？

例えば農業の場合、右の図のように「ロボットトラクタなどによる農作業の自動化・省力化」や「AIを活用した最適な営農計画の策定」などが可能となり、食料の安定供給や人手不足の解消などにつながります。



5. 大規模災害への対策

地震、洪水や土砂災害、火山噴火など各地で多くの災害が発生しています。大規模災害は起こりうるものとして常に意識し、災害への「強さ」と「しなやかさ」を備えた地域づくりを進める必要があります。

6. 地方分権と広域的行政の推進

地方が自立性・自主性を高め、主体的に地域経営を行えるようにすることが求められるとともに、人口減少下における地方自治体や行政サービス提供のあり方を見直す必要が生じています。

7. 国・地方を通じた厳しい財政状況

少子高齢化の進展により、社会保障費などの増大が見込まれ、施策の「選択と集中」、最小費用で最大効果が上げられる政策立案が求められます。

8. 持続可能な社会を目指して -SDGsの実現-



SDGsとは?

SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載されている2030年までの国際社会共通の目標であり、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、17のゴールと169のターゲットで構成されています。宮崎県においても、このSDGsの理念を踏まえた施策に取り組んでいます。

例えば、上のマンガではSDGsの目標「ゴール」のうち12や14などを表現しているよ!



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※11、12ページに、本県の施策に関係しているSDGsの目標を記載しています。